

マタイ 29

# 永遠の安息を 約束された者として

マタイ福音書12章1～21節

安息日論争

Shikaoichurch.com

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. 麦の穂を摘む 12:1~7

II. 片手の萎えた人の癒し 12:8~13

III. 最初の殺害計画 12:14~21

### IV. まとめと適用

永遠の安息を約束された者として





## 0. イントロダクション

カペナウムの再現図

# メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル  
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年  
エルサレム陥落



## 安息日とは？

■ 出エジプト記20:8～11

**安息日**を覚えて、これを聖なるものとせよ。

六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。

七日目は、あなたの神、**【主】の安息**である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、またあなたの町囲みの中にいる寄留者も。

それは**【主】**が六日間で、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造り、七日目に休んだからである。それゆえ、**【主】**は**安息日**を祝福し、これを聖なるものとした。

## 主の安息日は、神の民イスラエルのしるし

「わたしはまた、彼らにわたしの**安息日**を与えて、わたしと彼らとの間のしるしとし、わたしが彼らを聖なる者とする【主】であることを、彼らが知るようにした。エゼキエル20:12」

## 主の安息日を汚し、偶像礼拝へ

「それは、彼らがわたしの定めを忌み嫌い、わたしの掟に歩まず、わたしの**安息日**を汚したからだ。それほど彼らの心は偶像を慕っていた。エゼ20:16」

→律法を破る    →安息日を汚す    →偶像礼拝    →神の裁き  
(バビロン捕囚)

## 安息日とは？

■ 週の七日目。(現在の金曜夕刻～土曜夕刻)

…六日間の天地創造後、神が安息された七日間を記念

■ 安息日を聖別し、働いてはならない。

➔バビロン捕囚からの帰還後、厳格に守られるように。

…煮炊き、売買、農作業の禁止。(ネヘミヤ10:31)

■ 厳格に守ろうとするあまり、様々な**口伝律法**が付与。

➔かえって神の律法から離反。人々の重荷に。



# Ⅰ. 麦の穂を摘む

マタイ福音書12章1～7節

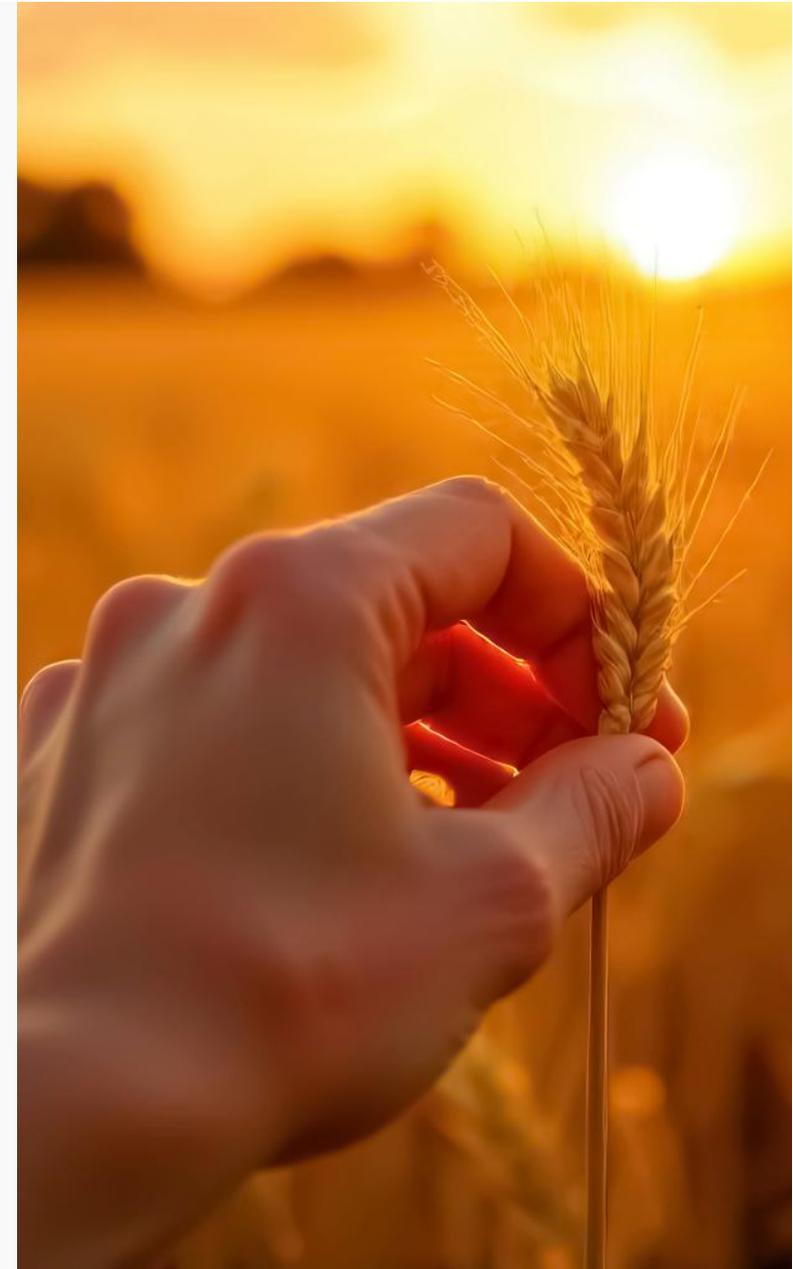
イスラエル・麦畑

## 本編 麦畑で マタイ12:1

そのころ、イエスは安息日に麦畑を通られた。弟子たちは空腹だったので、穂を摘んで\*食べ始めた。

### \*律法では認められたこと

「隣人のぶどう畑に入ったとき、あなたは思う存分、満ち足りるまでぶどうを食べてもよいが、あなたのかごに入れてはならない。隣人の麦畑の中に入ったとき、あなたは穂を手で摘んでもよい\*。しかし、隣人の麦畑で鎌を使ってはならない。申23:24～25」



## 本編 口伝律法による判断 マタイ12:2

するとパリサイ人たちがそれを見て、イエスに言った。「ご覧なさい。あなたの弟子たちが、安息日にしてはならないこと\*をしています。」

\*口伝律法では、労働とみなされた!!

穂を摘む → 収穫

殻をとる → 脱穀、ふるい分け

口に入れる → 貯蔵・調理

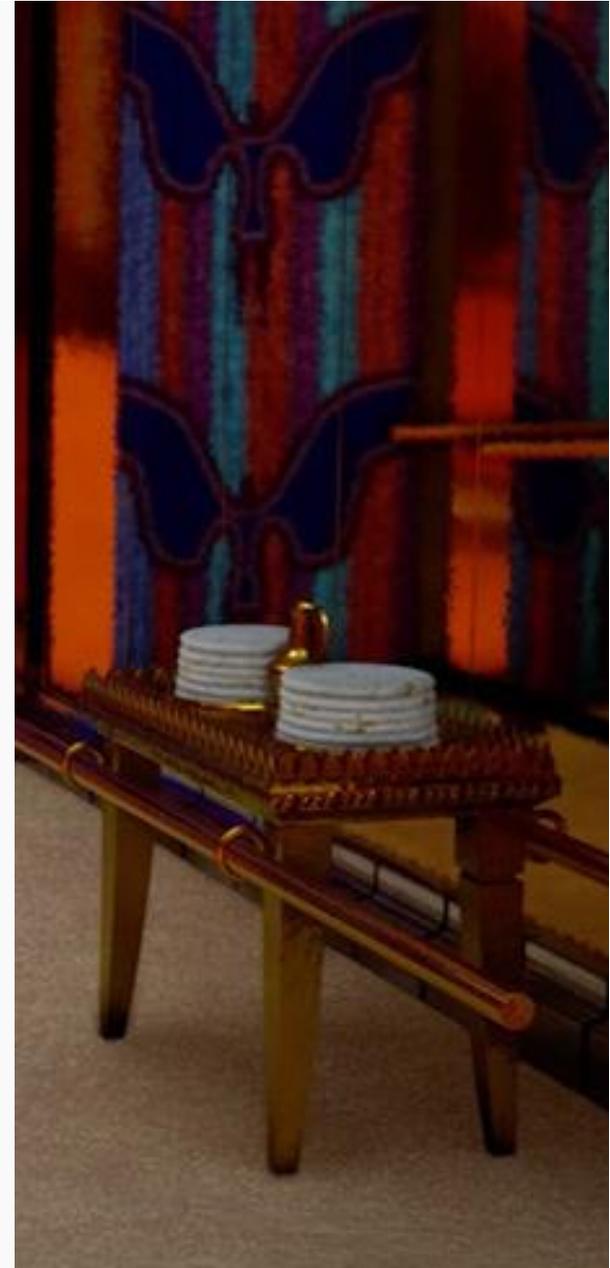


## 本編 ダビデのこと マタイ12:3～4

しかし、イエスは言われた。「ダビデと供の者たちが空腹になったときに、ダビデが何をしたか、どのようにして、神の家に入り、祭司以外は自分も供の者たちも食べてはならない\*、臨在のパンを食べたか、読んだことがないのですか。」

\*ただし、この規定に罰則はない(レビ24:9)

■ サウルからの逃亡中、祭司アヒメレクから、取り下げられたばかりの聖別された供えのパンをもらって、ダビデは食べた。



## 本編 大いなるもの マタイ12:5~6

また、安息日に宮にいる祭司たちは安息日を汚しても咎を免れる\*、ということを経法で読んだことがないのですか。

あなたがたに言いますが、ここに宮よりも大いなるもの\*があります。

\*安息日にも、ささげ物がささげられた。

➡祭司の神殿での労働は認められた

\*神の栄光を身に宿したイエスこそ、

生ける神殿 ➡神性宣言



## 本編 安息日の主 マタイ12:7~8

『わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない\*』とはどういう意味かを知っていたら、あなたがたは、咎のない者たちを不義に定めはしなかったでしょう。

人の子は安息日の主です\*。」

\*イスラエルへの警告 (ホセア書6:6)

➡パリサイ派の信仰は、捕囚を招いた先祖たちのように、形骸化。

\*メシアは、安息日を定めた神である





## II. 片手の萎えた人の癒し

マタイ福音書12章8～13節

ゴラン高原・ガムラの会堂跡

## 本編

## 会堂で マタイ12:9～10

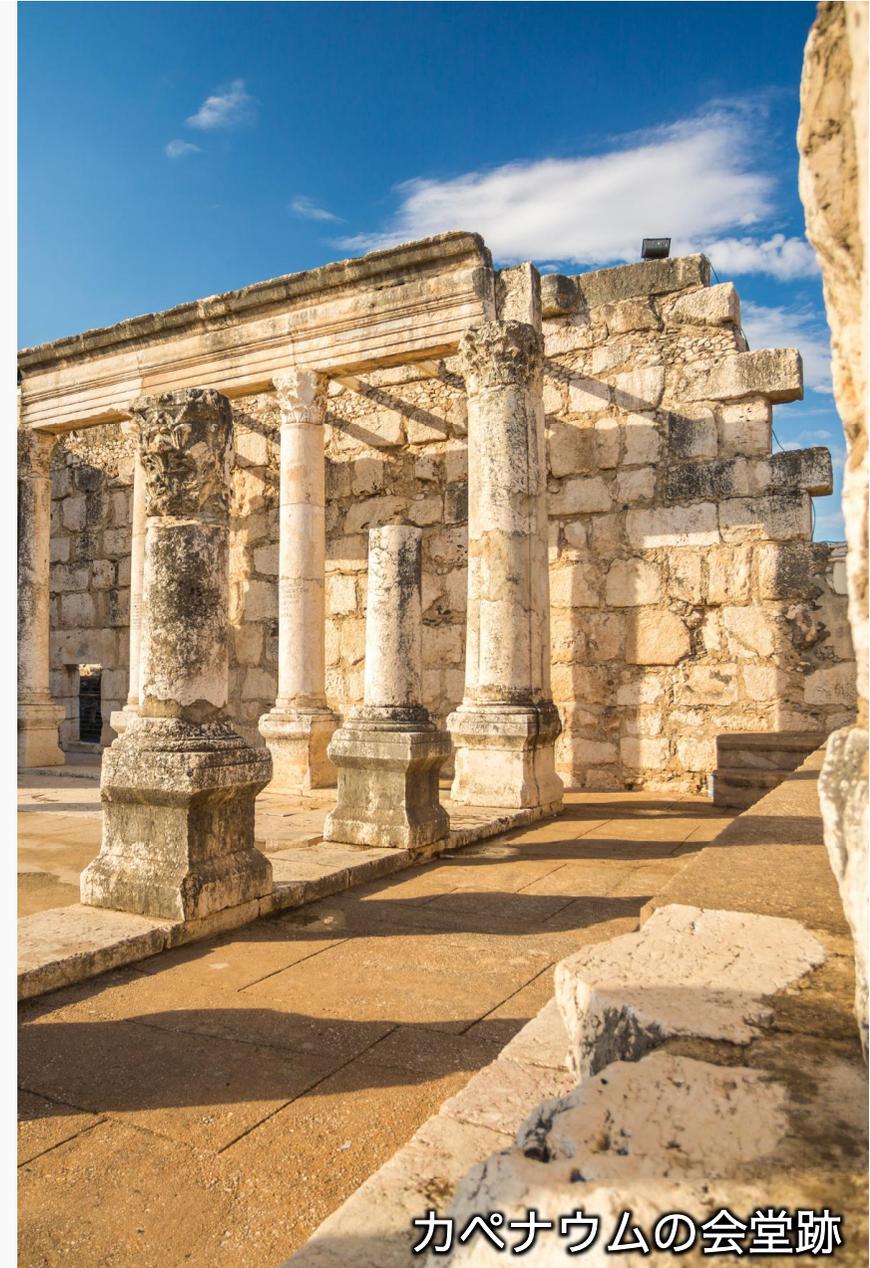
イエスはそこを去って、彼らの会堂に入られた。

すると見よ、片手の萎えた人がいた\*。  
そこで彼らはイエスに「安息日に癒やすのは律法にかなっていますか\*」と質問した。イエスを訴えるためであった。

\*イエスを貶める罠に利用

\*口伝律法では、癒やしも禁止。

生命の危険がある場合は例外。



カペナウムの会堂跡

## 本編 安息日の羊 マタイ12:11

イエスは彼らに言われた。「あなたがたのうちのだれかが羊を一匹持っていて、もしその羊が安息日に穴に落ちたら、それをつかんで引き上げてやらないでしょうか。」

- 口伝律法でも、安息日に穴に落ちた羊を助けることは、認められていた。

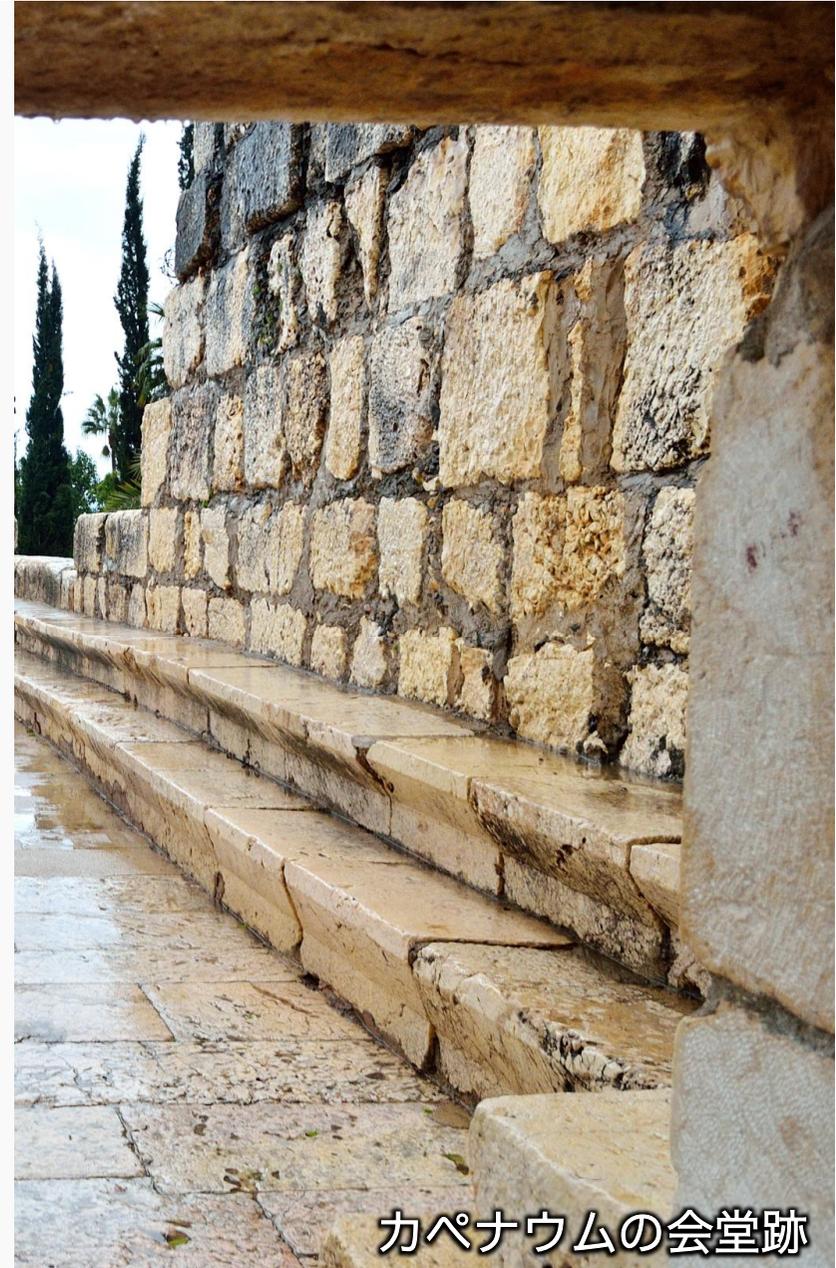


## 本編 価値ある人間 マタイ12:12

「人間は羊よりはるかに価値があります。それなら、安息日に良いことをするのは律法にかなっています。」

### ■「小から大の議論」

羊でさえ助けてよいのなら、  
はるかに価値のある人間は、なおさら。



カペナウムの会堂跡

## 本編

## 癒やし マタイ12:13

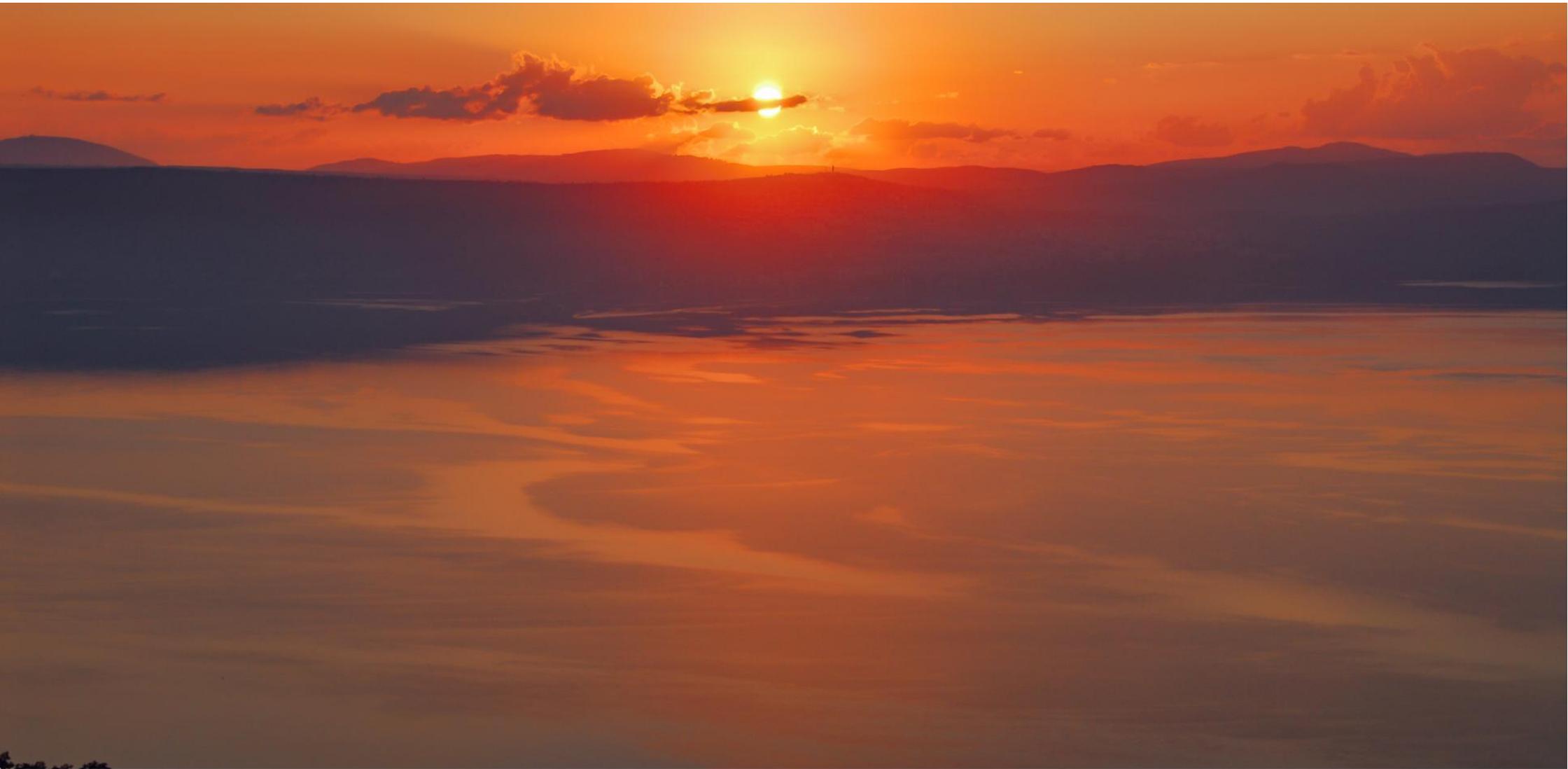
それからイエスはその人に「手を伸ばしなさい」と言われた。彼が手を伸ばすと、手は元どおりになり、もう一方の手のように良くなった。

- 安息日の主、メシアとして、ここでも、イエスは律法を正しく解釈し、実行。

**メシアは、安息日の主の権威を実行**



カペナウムの会堂跡



### Ⅲ. 最初の殺害計画

マタイ福音書12章14～21節

ガリラヤ湖畔

## 本編

## 殺害計画 マタイ12:14~15

パリサイ人たちは出て行って、どうやってイエスを殺そうかと相談し始めた\*。

イエスはそれを知って、そこを立ち去られた。すると大勢の群衆がついて来たので、彼らをみな癒やされた\*。

\*最初の殺人計画。ヘロデ党も(マコ3:6)

➡イエスは神を冒瀆・死に値する

\*イエスに付き従う者は、なお癒やされた。



## 本編 分断 マタイ12:16～17

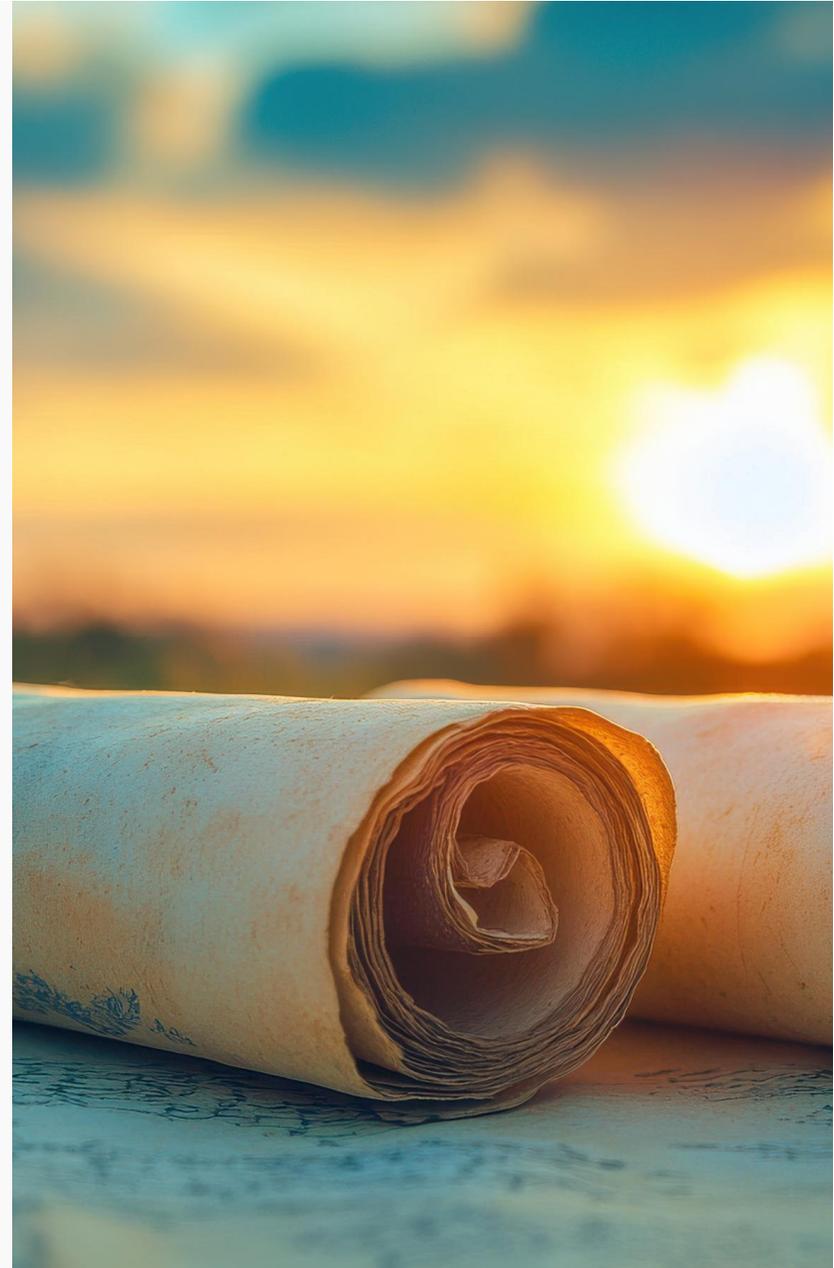
そして、ご自分のことを人々に知らせないように、彼らを戒められた。

これは、預言者イザヤを通して語られたことが成就するためであった。

■ イエスをメシアと信じるか否か。

両者の分断が明確に。

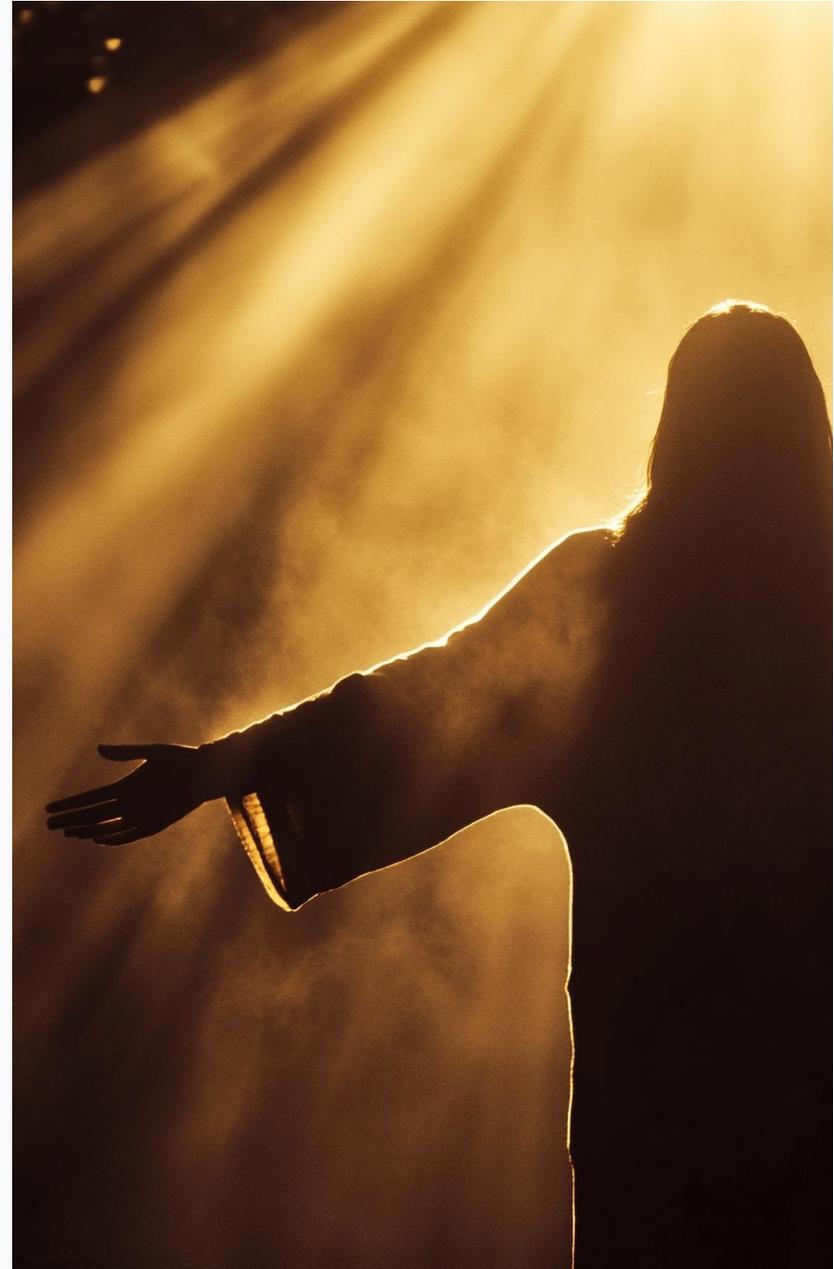
➔ メシアを巡るイスラエルの分断も  
預言されていた(イザヤ42:1～4)



## 本編 神のしもべ マタイ12:18

「見よ。わたしが選んだわたしのしもべ、わたしの心が喜ぶ、わたしの愛する者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は異邦人にさばきを告げる。

- イザヤによるメシア預言が告げられる。
- メシアは、主のしもべ、主の愛する者。  
聖霊が授けられ、諸国を王として治める。



## 本編 王なるメシア マタイ12:19~21

彼は言い争わず、叫ばず、通りでその声を聞く者もない。傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともない。さばきを勝利に導くまで。

異邦人は彼の名に望みをかける。」

- メシアは、しもべとして、罪の贖いの救いの御業を成し遂げられる。
- イスラエルを守り、導き、最終的な民族的回心に導かれ、世界の王として救われた異邦人をも御国に招かれる。





### III. まとめと適用

永遠の安息を約束された者として

ガリラヤ湖畔

## ホセアの預言が告げること

「わたしが喜びとするのは**真実の愛**。いけにえではない。全焼のさげ物よりむしろ、**神を知ること**である。ところが、彼らはアダムのように契約を破り、そこでわたしを裏切った。ホセア6:6~7」

- イスラエルは律法を破り、安息日を汚し、裁きを招いた。
  - ➔ 主が求められるのは、**主への真実の愛、神を知ること**  
神を知る = 神との一体化。主の命令が生き様となること。
- 民の信仰は形骸化し、真実に神を知ることがないままだった。

## 神の約束と罪の本質

「彼らはアダムのように契約を破り、そこでわたしを裏切った。

ホセア6:6~7」

■ 罪とは、神との契約(約束)を破ること。

➔ アダムは、神のようになろうとして禁断の実を食べた。

➔ イスラエルは、律法を破り、安息日を汚し、偶像を拝んだ。

「神の命令を守ること、それが、神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。 | ヨハ 5:3」 ※口伝律法は重荷(11:28)

**イエスが教えられたのは、神の命令の真実**

## 安息日の命令の真実とは？

■ 安息日、民は休み、神殿で主への礼拝だけがささげられた。

➔ 安息日は、主を愛し、主を知る日

■ イスラエルのメシアの宣言・「人の子は安息日の主です」

➔ 安息日に愛し、知るべき主は、イエス・キリスト

■ 安息日は、イスラエルをメシアに導くもの

➔ メシアが現れた今、イスラエルのメシアに従うべき

**今、安息日の主であるメシアに従いなさい!!**

## 安息日は、キリストの影

### ■コロサイ人への手紙2:16~17

こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは祭りや新月や安息日のことで、だれかがあなたを批判することがあってはなりません。

これらは、**来たるべきものの影**であって、**本体はキリスト**にあります。

## パリサイ人の殺意の理由

■ イエスは、安息日の主であると**宣言**され、  
会堂で癒しを行い、神の権威を**実行**された。

➡ 明らかな神性宣言と神の権威を裏付ける癒しの実行

■ パリサイ人は、「イエスはメシアではない」と、拒絶  
ただの人間が、神であると宣言 ➡ 死に値する罪

イエスがメシアでないなら、最悪の神への冒涇者

## イエスに対する人の応答は、二つに一つ

■ イエスは、

安息日の主と宣言(神性宣言)、

安息日に癒しの奇跡を実行(メシア的奇跡)

■ 人間の側の応答は、二つに一つ

① イエスは、神

➡ イエスを礼拝

② イエスは、神を騙る冒涇者

➡ イエスを拒絶(殺害)

## 安息日の主イエスの促し

■「安息日に**良いこと**をするのは律法にかなっていません」

例話) 穴に落ちた羊を引き上げる

行動) 片手の萎えた人を癒やされた

■主イエスは、イスラエルの家の失われた羊を正しく導かれる。

■最大の良いことは、**迷える人々を、主イエスに導く**こと。

主イエスの忠実なフォロワーとして、

主イエスのフォロワーを導き、育み、共に歩いていくこと。

# イスラエルになお残された、神の安息

「**安息日の休み**は、神の民のためにまだ残されています。ヘブル4:9」

- イスラエルはメシアを拒み、裁きを招き、世界に離散。
  - ➔ 個々のユダヤ人には、メシアを信じて救われるチャンスが!!
  - ➔ 世の終わりの大艱難を経て、残された者が民族的回心に!!
- すべての異邦人も、メシアを信じて、**永遠の安息**に入る。  
生涯の限り、大艱難の最後まで、救いの機会が与えられる。

## クリスチャンにとっての安息とは？

「**神の安息\***に入る人は、神がご自分のわざを休まれたように、自分のわざを休む\*のです。ヘブル4:10」

\*神の国での永遠のいのち。永遠の安息。

\*自分のわざを休むのが、信仰者にとっての安息日

■ 永遠の安息を約束された者として、自分の仕事、労働を休み、主を愛し、主を知ること注力する時、場を守っているか？

(※日曜日の礼拝は、主の復活を記念。安息日とは別)

## 安息日の規定をどう考えたらいい？

■ 律法を遵守するユダヤ人信者への処遇から ロマ14:5~6

「ある日を別の日よりも大事だと考える人もいれば、どの日も大事だと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。特定の日を尊ぶ人は、主のために尊んでいます。食べる人は、主のために食べています。**神に感謝**しているからです。食べない人も主のために食べないのであって、**神に感謝**しているのです。」

■ メシアが来られた今、安息日の規定は信仰者を束縛しない。

大切なのは、永遠の安息を約束された者として、

**神に感謝**すること。

永遠の主の安息を日々味わい知らされていこう!!

■ヘブル4:10~12

**神の安息**に入る人は、神がご自分のわざを休まれたように、自分のわざを休むのです。

ですから、だれも、あの不従順の悪い例\*に倣って落伍しないように、**この安息**に入るように努めようではありませんか。

\*安息日を汚し、裁きを招いた不信仰のイスラエル

## 永遠の主の安息を日々味わい知らされていこう!!

### ■ヘブル人への手紙4:12~13

神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

神の御前にあらわでない被造物はありません。神の目にはすべてが裸であり、さらけ出されています。この神に対して、私たちは申し開きをするのです。

## 永遠の主の安息を日々味わい知らされていこう!!

### ■ヘブル人への手紙4:14~16

さて、私たちには、もろもろの天を通られた、神の子イエスという偉大な大祭司がおられるのですから、信仰の告白を堅く保とうではありませんか。

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでした。すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

## ★ 永遠の安息を約束された者として ★

■ 安息日の主イエスが、私たちに永遠の安息を約束されている。  
自分のわざを休み、主を愛し、知ることに注力する時を!!

■ 主を最優先に、生き方を変えられていくのが、信仰者。  
永遠の安息を約束された私は、今、何を促されているか？

■ 私たちの罪のため、十字架で死なれ、葬られ、復活された、  
安息日の主イエスの愛をこそ、掲げ、告げ知らせていこう!!

**なすべき最善は、永遠の安息に、人々を導くこと**

てん とう わたし つみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ こ しゅ  
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し  
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし やくそく えいえん あんそく あじ  
私たちに約束された、永遠の安息を味わわせてください。

しゅ あい しゅ し いじょう さいわ わたし  
主を愛し、主を知ること以上の幸いは、私たちにはありません。

わたし あんそくび しゅ みこころ だいいち あゆ  
私たちは、安息日の主イエスの御心を第一として歩みます。

えいえん あんそく めぐ わたし つか  
永遠の安息の恵みをもって、私たちを遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」